

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月18日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【当社ホームページに公表している不適合の処理状況内訳件数の誤りについて】</p> <p>当社ホームページに公表している「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況について(2019年度第4四半期)」のうち、添付資料2の2018年度のグレードⅠの処置完了件数と処置未完了件数が、誤っていることが判明。2020年度第1四半期分を作成していた際に、2019年度第4四半期分との相違に気付いたもの。原因は、2019年度第4四半期報作成時点では、処置未完了が1件あったが、運用上システムでは処置完了となっており、件数の算出時に処置完了と扱ったもの。当該箇所は速やかに修正予定。今後、原因の深掘りと再発防止対策を検討予定。</p>	GⅡ	8月17日
2	<p>【サブドレン揚水ポンプNo. 56の過負荷による停止について】</p> <p>免震重要棟集中監視室の監視盤にサブドレン揚水ポンプNo. 56「揚水ポンプC056過負荷トリップ」警報が発生したため、当直員が現場を確認したところ、ポンプが停止したことを確認。その後、揚水ポンプの動力電源を停止し、当該警報の消灯を確認。また、電源ケーブルの絶縁抵抗測定にて、異常なしを確認。横引き管で連結された隣接する揚水ポンプで自動運転中のため、当該ポンプ停止による影響はなし。今後、当該ポンプを交換予定。</p>	GⅢ	8月8日
3	<p>【凍土遮水壁設備 冷凍機(2A-3)ブライン※出口温度計の指示不良について】</p> <p>凍土遮水壁設備 冷凍機(2A-3)が停止中の状態で、ブライン出口温度計の指示値が下降・復帰を繰り返していることを当直員が確認。他の冷凍機ブライン出口温度計は安定していることにより、当該温度計の故障と推定。他の冷凍機の運転により凍土遮水壁の維持に影響なし。今後、温度計の点検予定。 ※ブライン:冷媒のこと</p>	GⅢ	8月15日